

JP151 出水・高尾野 (いずみ・たかおの)

鹿児島県：出水市

位置	N 32° 06′ E 130° 17′
面積	842ha

環境構成【水田／干潟】

鹿児島県の北西部に位置し、米ノ津川、高尾野川、野田川などの河川が流れ込み扇状地が発達している。土砂が堆積して干潟ができやすく古くから干拓がおこなわれ水田が多く見られる。ナベヅルは世界の個体数の約8～9割、マナヅルは約5割が越冬している。主に高尾野川の東西に広がる約7,500haの水田地帯がツル類の越冬地として利用されている。



写真提供：金井裕

選定理由

A1	ナベヅル・マナヅル
A4i	ナベヅル・マナヅル

保護指定

法的な担保がない、もしくはわずか（10パーセント未満）である

<保護指定の内容>

国指定鳥獣保護区（出水・高尾野）

<その他>

東アジア・オーストラリア地域フライウェイパートナーシップ参加地、国指定特別天然記念物鹿児島県のツルおよびその渡来地

保全への脅威

- ・越冬個体の過度の集中による伝染病の危険
- ・ツルの給餌に集まるカモ類による農業被害
- ・風力発電計画

保全活動

- ・環境教育活動：

内容：探鳥会、北薩地区探鳥地ガイドの鳥のパンフレット作成（出水地区小中学校に配布）
（日本野鳥の会かごしま県支部）

探鳥会、観察会（出水市ツル博物館クレインパーク）

- ・環境管理：実施者（環境省、文部科学省、鹿児島県、出水市）

内容：ツル保護管理事業（10～3月）

- ・モニタリング調査

ガンカモ調査（1月）、シギ・チドリ類調査（4、9月）（日本野鳥の会かごしま県支部）

ツル類のカウント（10～1月）（出水市立荘中学校、出水市立高尾野中学校ツルクラブ、
日本野鳥の会かごしま県支部、出水市ツル博物館クレインパーク、国設鳥獣保護区監理員
他ボランティア）

見られる鳥

1997年までには出水では、288種の記録があり冬鳥の種類が多く見られる。10月中旬から3月までツル類はマナヅル約3,000羽、ナベヅル約13,000羽、10羽以下のクロヅル、カナダヅル、タンチョウ、ソデグロヅル、アネハヅルの記録がある。

留鳥	トビ、アオサギ、ゴイサギ、コサギ、ダイサギ、チュウサギ、タマシギ、ヒクイナ、バン、ヒバリ、カワセミ、ムクドリ、カワラヒワ
夏鳥	ホトギス、ツバメ、アマサギ
冬鳥	ツクシガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、クロツラヘラサギ、ヘラサギ、カワウ、タゲリ、ハマシギ、タシギ、タヒバリ、チョウゲンボウ、ホオアカ、カシラダカ、オオジュリン、ツリスガラ、ミヤマガラス、コクマルガラス
旅鳥	ヨシゴイ、カラシラサギ、チュウシャクシギ、キアシシギ、クロハラアジサシ、ショウドウツバメ、ツメナガセキレイ、ノビタキ、コムクドリ
迷鳥	オオワシ、オオノスリ、コウノトリ、ヒメモリバト、ソリハシセイタカシギ、ハイイロガン、サカツラガン、シラガホオジロ

関連団体・自治体・施設等

- ・出水市ツル博物館 クレインパークいずみ
- ・日本野鳥の会かごしま県支部

N



桂島
Kazura-shima Is.
前島
Mae-jima Is.



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeBCo, IGN, Kadaster, NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community